



ものづくりの安全・省人化を担う産業用ロボット事業

～ 人材不足を解決し社会のものづくりを支援するロボット技術者～



《プロフィール》

氏名：佐伯 篤志（さいき あつし）

肩書：営業技術部 次長

資格：ロボット特別教育インストラクター/他

経歴：日系のシステム開発・運用/自動化システム開発・保守を行う企業に就職。その後、台湾に渡り、自動化設備の事業を立ち上げる。帰国後、ロボット関連事業の立上げを経て、当社入社。

出身地：愛媛県

きっかけ：父親の仕事を見て、技術者を「かっこいい」と思った

▼父親の仕事を見て、技術者に憧れる

私の父親は電気関係の技術者だったため、テレビや冷蔵庫などを家で直すことがありました。工具を駆使する様子を見て、「かっこいいなあ」と思ったことが私の原体験です。そのため、小学生の頃からぼんやりと将来は電気関係の技術者になりたいと思っていました。

最初の就職は自動化システム開発・保守を行う企業に入社、配管を流れていく物質の制御を自動化する時の計測器のメンテナンスと電気制御技術の仕事に就きました。その後、機械を活用した自動化事業での機器の組合せや電気回路、ソフトウェアの設計製作の事業を運営しました。この頃から少しずつロボットや機械との関係性が増え、ロボットに携わる機会が多くなっていました。

そこから、生産管理 IoT 関連技術、ビル全体の空調や照明の省エネ、省人化を自動化する電気制御技術の事業を経て、ロボット技術に特化してきました。機械の専門家ではない自分が、機械の技術者に頼らず、ロボットを使って自由に物を動か

すことが出来た時の感動が忘れられず、ロボットやロボットで実現する自動化に関して更に深い知識を得たいと思うようになりました。

▼自分でロボットを作れると思いハイウィンへ転職

これまでの経験をもとに、次の進路に何を選ぶべきかいろいろ悩みましたが、次の転職では、一生従事できる領域を仕事にしたいと考えました。そんな中で、ハイウィンは機械・電気の幅広い種類の製品を扱っていることを知り、「組合せ次第で、自分でロボットを作る事もできるかも！」と想像できたことが、入社決め手となりました。



搬送&ねじ締めロボット | 展示会にて

注力領域：社会の課題を解決する自動化・省力化ソリューション

▼仕事内容

ハイウインは台湾に本社があり、世界 12 か国に拠点を持つ精密部品・機器メーカーです。その中で私が所属するのは産業用ロボットを取り扱う「営業技術部」で、工場や製造現場で活躍する産業用ロボットの導入や、部品を組み合わせる新しい使い方を提案する“用途開発”などを行っています。

▼もっと便利に！役立つロボットの提案と開発

当社の産業用ロボットは、自動車・電気・半導体を中心とする製造業、もしくはこうした製造業に自動化設備を納入している企業が主な顧客です。製造現場の省人化を進めるとともに、暑過ぎる寒

過ぎるといった厳しい環境下や、重いものを持つ、同じことを繰り返す、長時間連続で動作するといった、人間には困難な作業が可能で、人手不足が深刻化する現代のものづくりにおいて、とても重要な存在となっています。さらに、産業向けの装置に使われる自動化などを目的とした機械・電子部品の会社で、機械関係と電気関係の両方の部品を幅広く提供していることも強みです。

それらの強みを生かし、既存製品を組み合わせる新しい使い方を見つける「用途開発」で顧客の要望に合った様々な組み合わせ製品を制作しています。

▼自動化導入からアフタフォローまでをサポート

「自動化システムを導入したい」というお客様に対して、まずは概念検証（*試作前に実現可能かどうか検証するプロセス）を行い、実際に自動化できるのか？を検証し、導入までサポートする事が私達の仕事の一つです。導入後の技術的サポートも大切で、アフターサポートも大きな割合を占めています。



今後の展望：ロボット技術の教育システムの充実化

▼採用力強化のための育成環境の整備

自分自身がある程度の年齢になったこともあり、近年は後輩技術者の育成と、そのための教育基盤の整備にも力を入れています。技術者向けはもちろん、営業部門や管理部門の社員も使える事業概要に関するコンテンツ作成は昨年一通り完了しました。

今後は、企業として、学生インターンを受け入れ、新卒採用も検討していく中で、体系的な教育コンテンツの整備は必須事項だと考えています。当社は取り扱っている製品が身近な物ではない上に種類も多く、勉強が必要な内容が多いので、それらをわかりやすく理解できるような基盤整備を進め



ています。

また、次長というポジションでもあるため、管理職として部門の社員が働きやすくなるような社内基盤の整備も行っています。

[参考]・[ハイウインの産業用ロボット一覧](#)
・[自動化・省力化ソリューション](#)

本件に関するお問合せ先

ハイウイン株式会社 マーケティング企画課 e-mail:kikaku@hiwin.co.jp TEL:078-997-8827 (代表)